



コマンド クイック リファレンス

このマニュアルでは、Cisco 10000 シリーズ ルータ上で実行する多数のコマンドの概要を紹介し
ます。ラインカードによっては、また Cisco IOS のリリースによっては、コマンドが異なる場合があ
ります。たとえば、T3 インターフェイスのコントローラ コンフィギュレーション モードには、
SONET のコントローラ コンフィギュレーション モードより多くのコマンドがあります。

コマンドの詳細については、次のマニュアルを参照してください。

- 『[Cisco 10000 Series Internet Router Software Configuration Guide](#)』
- 『[Cisco IOS Software Command References](#)』
- 『[Cisco 10000 Series Internet Router Broadband Aggregation Configuration Guide](#)』
- 『[Cisco 10000 Series Internet Router Useful Links](#)』
- 『[Cisco 10000 Series Internet Router Line Card Slot Preprovisioning](#)』 フィーチャ モジュール



(注) Cisco 10000 シリーズ ルータでサポートされないコマンドおよび引数については、『[Cisco 10000 Series Internet Router Troubleshooting Guide](#)』を参照してください。

コンフィギュレーションモードおよびプロンプト

表1に、このマニュアルで扱うコンフィギュレーションモードとそのモードに対応するプロンプトを示します。

表1 コンフィギュレーションモードおよびプロンプト

コンフィギュレーションモード	プロンプト
ROM モニタ	rommon>
ユーザ EXEC	Router>
イネーブル EXEC	Router#
グローバル	Router (config) #
インターフェイス	Router (config-if) #
VC クラス	Router (config-if-atm-vc-class) #
VC	Router (config-if-atm-vc) #
コントローラ	Router (config-controller) #
QoS クラス マップ	Router (config-cmap) #
QoS ポリシー マップ	Router (config-pmap) #
QoS ポリシー マップ クラス	Router (config-pmap-c) #
VPDN グループ	Router (config-vpdn) #
BBA グループ	Router (config-bba) #
DHCP	Router (config-dhcp) #
PVC レンジ	Router (config-pvc-range) #
PVC インレンジ	Router (config-pvc-in-range) #
冗長構成	Router (config-r) #
冗長構成メイン CPU	Router (config-r-mc) #
SSG リダイレクト	Router (config-ssg-redirect) #
SSG リダイレクト ネットワーク	Router (config-ssg-redirect-network) #
SSG リダイレクト ポート	Router (config-ssg-redirect-port) #
SSG リダイレクト グループ	Router (config-ssg-redirect-group) #

コマンドの掲載箇所

表 2 に、このマニュアルの各項で説明するコマンドを示します。

表 2 コマンドサマリー

参照箇所	コマンド
アカウントingおよび認証コマンド (p.5)	aaa、access-profile
ATM Virtual Circuit (VC; 仮想回線) コマンド (p.6)	atm pxf queuing、create on-demand、dbs enable、debug atm autovc、idle-timeout、range、show atm pvc、show atm pvc dbs、show atm pvc vpi/vci、show atm vc、vc-class atm
基本的な CLI (コマンドライン インターフェイス) コマンド (p.7)	clear facility-alarm、disable、enable、end、exit、facility-alarm、help、no、show、show facility-alarm status
基本的なファイル転送サービス コマンド (p.9)	async-bootp、rsh、tftp-server
基本的なシステム管理コマンド (p.9)	alias、buffers、calendar、clock、hostname、load-interval、ntp、prompt、scheduler
ブロードバンドアクセス: PPP およびルーテッドブリッジカプセル化コマンド (p.10)	bba-group pppoe、encapsulation aal5autopp virtual-template、pppoe enable
ブートコマンド (p.11)	boot、confreg、reload
Cisco IOS ソフトウェアのファイル システム コマンド (p.11)	cd、copy、delete、dir、erase、file、format、mkdir、more、pwd、rename、rmdir、squeeze、undelete、verify
コンフィギュレーションファイル管理コマンド (p.12)	configure、service
接続、メニュー、およびシステム バナーのコマンド (p.12)	banner、lock、menu、name-connection、send
DHCP コマンド (p.13)	ip address-pool dhcp-pool、ip dhcp pool、origin、utilization mark low、utilization mark high
ダイヤルテクノロジー コマンド (p.13)	clear pppoe all、clear pppoe interface、clear pppoe rmac、controller、description、dialer、disconnect、l2tp tunnel retransmit initial retries、l2tp tunnel retransmit initial timeout、line、loadsharing、multilink、multilink-group、ppp、show pppoe session all、show pppoe session packets、tunnel、virtual-profile、vpdn enable、vpdn-group、vpdn session-limit、vpdn search-order
フレームリレー コマンド (p.15)	frame-relay、frame-relay interface-queue fair、frame-relay interface-queue priority、keepalive
インターフェイス コマンド (p.15)	aps、atm、autodetect、backup、bert、carrier-delay、compress、crc、delay、down-when-looped、dsu、duplex、encapsulation、framing、full-duplex、half-duplex、hold-queue、interface、interface virtual template、mtu、pos、pulse-time、scramble、serial、shutdown、speed、transmit-interface
IP アドレス指定コマンド (p.18)	arp
IP マルチキャスト ツール コマンド (p.18)	mrinfo、mstat、mtrace
IP ルーティングプロトコルに依存しないコマンド (p.18)	key、route-map
IP サービス コマンド (p.19)	ip mtu、ip pxf ignore、ip tcp path-mtu-discovery
ISO コネクションレス ネットワーク サービス コマンド (p.19)	clns、which-route
ロックおよび鍵のコマンド (p.19)	access-enable、access-template
パスワードおよび権限コマンド (p.22)	privilege、username

表 2 コマンドサマリー (続き)

参照箇所	コマンド
Parallel Express Forwarding コマンド (p.20)	clear pxf interface、 clear pxf statistics、 show pxf、 show pxf cpu
Quality of Service (QoS; サービス品質) コマンド (p.23)	bgp-policy、 class、 class-map、 default、 match、 police、 policy-map、 queue-limit、 queue-list、 random-detect、 rate-limit、 service-policy、 set、 traffic-shape、 tx-ring-limit
RADIUS コマンド (p.24)	aaa group server radius、 radius-server retransmit、 radius-server timeout
冗長構成コマンド (p.24)	associate、 auto-sync、 failover、 main-cpu、 redundancy
ルータ メモリ コマンド (p.24)	write
Service Selection Gateway (SSG) コマンド (p.25)	clear ssg、 debug ssg、 network、 network-list、 port、 port-list、 redirect、 server、 server-group、 show ssg、 show tcp-redirect mappings、 server、 server-group、 ssg
スイッチング サービス コマンド (p.29)	clear、 default、 ip vrf forwarding、 mls rp、 mpls、 show ip vrf、 tagswitch、 tag-switching
端末動作特性のコマンド (p.30)	default-value、 state-machine、 terminal、 terminal-queue、 where
端末サービス コマンド (p.30)	busy-message、 connect、 login、 login-string、 logout、 resume、 resume-string、 rlogin、 session-limit、 slip、 telnet
トラブルシューティングおよび障害管理のコマンド (p.31)	debug、 debug pppoe、 exception、 logging、 ping、 posd、 test、 traceroute、 tracerte、 undebug
SONETおよびT3コントローラ コンフィギュレーションコマンド (p.32)	(SONET) clock、 description、 help、 loopback、 path、 shutdown (T3) cablelength、 channelized、 clock、 description、 equipment、 framing、 help、 idle、 loopback、 mdl、 shutdown、 t1
その他のコマンド (p.33)	<1-99>、 access-list、 authen before-forward、 bandwidth、 card、 cdp、 chain-cache、 dialer-group、 dss、 hw-module、 idle-character、 initiate-to ip、 ip、 ipc、 isis、 iso-igrp、 kerberos、 loopback、 mac-address、 map-class、 map-list、 priority-list、 protocol pppoe、 rmon、 router、 rtr、 setup、 snmp、 snmp-server、 syscon、 systat、 tacacs-server、 tftpload、 timeout、 vpdn authorize domain、 vpdn multihop、 vpdn search-order、 vpn id、 vpn service

show コマンドの拡張

Cisco IOS ソフトウェアにおける show コマンドの拡張によって、下記が可能です。

- 大量の show コマンド出力を検索またはフィルタリングする
- 不要な show コマンド出力を除外する
- あとで参照できるように大量のデータ出力をファイルまたは URL に書き出す


show コマンドで使用できる拡張機能の一部を紹介します。詳細については、『[CLI String Search](#)』 Release 12.0T および『[Show Command Output Redirection](#)』 Release 12.0(21)S、12.2(13)T フィーチャ モジュールを参照してください。

コマンド	説明および使用方法	コマンドモード
<code>show command begin string</code>	指定された <i>string</i> と一致する行からコマンド出力を表示します。パイプ () が必要です。	イネーブル EXEC
<code>show command exclude string</code>	指定された <i>string</i> を含まないコマンド出力行を表示します。パイプ () が必要です。	イネーブル EXEC
<code>show command include string</code>	指定された <i>string</i> を含むコマンド出力行を表示します。パイプ () が必要です。	イネーブル EXEC
<code>show command append URL</code>	指定された URL のファイルにコマンド出力を転送して追加します。パイプ () が必要です。	イネーブル EXEC
<code>show command redirect URL</code>	指定された URL にコマンド出力を転送します。パイプ () が必要です。	イネーブル EXEC
<code>show command tee URL</code>	指定された URL にコマンド出力をコピーし、画面に出力を表示します。	イネーブル EXEC

アカウントिंगおよび認証コマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンドモード
<code>aaa</code>	Authentication, Authorization, Accounting (AAA; 認証、許可、アカウントिंग) RADIUS または TACACS+ を使用する場合に課金またはセキュリティを目的としたアカウントिंग。 このコマンドではさまざまなパラメータを使用できます。詳細については、『 Cisco IOS Security Command Reference 』を参照してください。	グローバル
<code>access-profile</code>	ユーザプロファイルをインターフェイスに適用します。 PPP セッション時にユーザ単位の認証属性をインターフェイスに適用します。	ユーザ EXEC イネーブル EXEC

ATM Virtual Circuit (VC; 仮想回線) コマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンド モード
atm pxf queuing	ポート上で Low VC Count モードをイネーブルにします。これがデフォルトのモードです。 このコマンドの no 形式を使用すると、各ポートで High VC Count モードがイネーブルになります。	インターフェイス
create on-demand	Permanent Virtual Circuit (PVC; 相手先固定接続) の自動プロビジョニングをイネーブルにします。	VC クラス
dbns enable	(VC クラス) Dynamic Bandwidth Selection (DBS) 機能をイネーブルにして、インターフェイスまたはサブインターフェイスに設定された VC クラスに DBS QoS パラメータを適用します。 (VC) DBS 機能をイネーブルにして、PVC に DBS QoS パラメータを適用します。	VC クラス VC
debug atm autovc {event error all}	オンデマンド VC イベントおよびエラーを表示します。 すべてのオンデマンド VC イベントを表示する場合は、 event オプションを使用します。 すべてのオンデマンド VC エラーを表示する場合は、 error オプションを使用します。 オンデマンド VC イベントとエラーの両方を表示する場合は、 all オプションを使用します。  (注) 大きい PVC レンジに debug atm autovc コマンドを使用すると、コンソール画面に大量のメッセージが表示されます。	イネーブル EXEC
idle-timeout [<i>time-out-in-seconds</i>] [<i>minimum-traffic-in-kbps</i>]	オンデマンド PVC でアイドルタイムアウトタイマーをイネーブルにします。 デフォルトの <i>time-out-in-seconds</i> は 0 (アイドルタイムアウトなし) です。 PPP over Ethernet (PPPoE) および PPP over ATM (PPPoA) セッションの場合、 <i>minimum-traffic-in-kbps</i> オプションが指定されていても、または VC がアイドルタイムアウト値に達するまでアイドル状態であっても、Cisco 10000 ルータはすべてのセッションのトラフィックが処理されるまで待ってから VC を切断します。	VC クラス
range [range-name] pvc <i>start-vpi/start-vci end-vpi/end-vci</i>	PVC レンジを指定し、ATM レンジ コンフィギュレーション モードを開始します。	ATM レンジ
show atm pvc	インターフェイス、VPI/VCI、タイプ、カプセル化など、ATM PVC に関する情報を表示します。	イネーブル EXEC
show atm pvc dbns	Dynamic Bandwidth Selection QoS パラメータが適用された ATM PVC に関する情報を表示します。	VC
show atm pvc vpi/vci	VC 自動プロビジョニングがイネーブルかどうかを含め、特定の PVC に関する情報を表示します。	イネーブル EXEC

コマンド	説明および使用方法	コマンド モード
show atm vc	Type フィールドの VC-A (VC-Automatic) でわかる、VC がオンデマンド VC であるかどうかを含め、ATM VC に関する情報を表示します。	イネーブル EXEC
vc-class atm name	VC クラスを作成し、VC クラス コンフィギュレーション モードを開始します。	グローバル

基本的な CLI (コマンドライン インターフェイス) コマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンド モード
clear facility-alarm	要求されたアラーム レベルまたはアラーム ソースについて、外部アラーム リレーまたはデバイス メモリを消去します。アラーム レベルには major 、 minor 、および critical アラームがあります。 clear facility-alarm コマンドを使用すると、指定した外部アラーム表示がすべて消去されます。演算子を指定しなかった場合、すべての外部アラームが消去されます。条件は引き続き通知され、 show facility-alarm status コマンドで表示できます。アラーム ステータスを消去するには、このコマンドでアラーム ソースを指定することによって、発生源でアラーム条件を削除する必要があります。発生源を指定すると、指定したデバイスのメモリが消去され、その結果、アラームの発生源が削除されます。	イネーブル EXEC
disable	イネーブル コマンドをオフにします。 (イネーブル EXEC) disable を使用すると、イネーブル EXEC モードが終了し、ユーザ EXEC モードに戻ります。	ユーザ EXEC イネーブル EXEC
enable	(ユーザ/イネーブル EXEC) イネーブル コマンドをオンにします。 (グローバル) イネーブル パスワード パラメータを変更します。	ユーザ EXEC イネーブル EXEC グローバル
end	コンフィギュレーション モードを終了します。	グローバル
exit	(ユーザ EXEC) 既存のネットワーク接続を終了します。端末セッションを終了します。 (イネーブル EXEC) EXEC を終了します。 (グローバル) コンフィギュレーション モードを終了します。端末セッションを終了し、コンフィギュレーション モードを終了します。 (インターフェイス) インターフェイス コンフィギュレーション モードを終了します。	ユーザ EXEC イネーブル EXEC グローバル インターフェイス
facility-alarm	マイナーおよびメジャー アラームのスレッシュホールド温度を明示的に入力します。	グローバル
help	対話式ヘルプ システムを記述します。	すべてのコマンド モード

コマンド	説明および使用方法	コマンドモード
no	コマンドを取り消すか、またはデフォルトにリセットします。	イネーブル EXEC グローバル インターフェイス
show	システム情報を表示します。 (ユーザ EXEC) キーワードは hardware 、 version 、および facility-alarm です。 (イネーブル EXEC) キーワードは class-map 、 ip vrf id 、 policy-map 、 controllers 、 environment 、 facility-alarm 、 hardware 、 ppp multilink 、 startup-config 、 running-config 、および version です。	ユーザ EXEC イネーブル EXEC
show facility-alarm status	現在のメジャー/マイナー アラームおよび Cisco 10000 ルータ上でユーザが設定できるすべてのアラームのスレッシュホールドを表示します。 このコマンドにキーワードまたは引数はありません。 show facility-alarm status コマンドを使用すると、温度に関する現在のメジャー/マイナー アラームおよびユーザが設定できるアラーム スレッシュホールドがすべて表示されます。Cisco 10000 ルータは、セントラル オフィス内の高度なビジュアル アラーム ディスプレイに物理的に接続できます。アラーム条件が (LED またはベルによって) 示されると、 show facility-alarm status コマンドを使用してそのアラームの原因を調べることができます。	グローバル

基本的なファイル転送サービスコマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンドモード
async-bootp	システムの bootp パラメータを変更します。 拡張 BOOTP 要求をサポートします。BOOTP 要求に対する応答として送信する情報を指定します。	グローバル
rsh	Remote Shell (RSH; リモートシェル) ホスト上でコマンドを実行します。	イネーブル EXEC
tftp-server	netload 要求に対応する TFTP サービスを提供します。	グローバル

基本的なシステム管理コマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンドモード
alias	コマンドエイリアスを作成します。	グローバル
buffers	システムバッファプールパラメータを調整します。 バッファプールの設定値を調整し、テンポラリバッファの作成限度および廃棄限度を調整します。	グローバル
calendar	ハードウェアカレンダーを管理します。	イネーブル EXEC
clock	(イネーブル EXEC) システムクロックを管理します。Cisco 10000 シリーズルータのシャーシに日時を設定します。 (グローバル) 時刻クロックを設定します。 (インターフェイス) インターフェイスのクロックソースを設定します。	イネーブル EXEC グローバル インターフェイス
hostname	システムネットワーク名を設定します。 Cisco 10000 シリーズルータのホスト名を指定します。	グローバル
load-interval	インターフェイスの負荷を計算する間隔を指定します。 負荷統計情報の計算に使用するデータの蓄積期間を変更します。	インターフェイス
ntp	Network Time Protocol (NTP) を設定します。	グローバル インターフェイス
prompt	システムプロンプトを設定します。 システムプロンプトをカスタマイズします。	グローバル
scheduler	スケジューラパラメータ。 CPU プロセスハンドリングのタイミングを設定します。	グローバル

ブロードバンドアクセス : PPP およびルーテッドブリッジカプセル化コマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンドモード
bba-group pppoe { <i>group-name</i> global }	<p>PPPoE の Broadband Aggregation (BBA) グループを設定します。</p> <p>このコマンドを使用すると、グローバル BBA グループまたは <i>group-name</i> で指定された特定の BBA グループを設定できます。グローバル BBA グループは、ポートレベルでグループが設定されていないポート上のセッションに使用される、特殊なグループです。</p> <p>BBA グループを設定するには、BBA グループ コンフィギュレーションモードで次のコマンドを使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • virtual-template vtemplate-num — グループ用の仮想テンプレートを定義します。 • pppoe limit max-sessions number — (グローバルグループに限って使用可能) すべてのインターフェイスからこのルータで終端させることのできる、PPPoE セッションの最大数を指定します。 • pppoe limit per-mac per-mac-limit — グループを使用する各 PPPoE ポートの MAC (メディア アクセス制御) アドレスあたりの最大セッション数を指定します。 • pppoe limit per-vlan per-vlan-limit — グループを使用する各 VLAN (仮想 LAN) の最大 PPPoE セッション数を指定します。 • pppoe limit per-vc per-vc-limit — グループを使用する各 VC の最大 PPPoE セッション数を指定します。 <p>Permanent Virtual Circuit (PVC; 相手先固定接続) に BBA グループを結合するには、インターフェイスまたはサブインターフェイス コンフィギュレーションモードで protocol pppoe group コマンドを使用します。</p>	グローバル
encapsulation aal5autopp virtual-template vtemplate-number [group pppoe-group-name]	<p><i>pppoe-group-name</i> で指定された PPP over Ethernet (PPPoE) グループで定義されている PPPoE コンフィギュレーションを着信 PPPoE セッションに使用させることを指定します。</p> <p>PPPoE グループを指定しなかった場合、PPPoE セッションはグローバル PPPoE グループで定義されているコンフィギュレーションを使用します。</p>	VC VC クラス PVC レンジ PVC インレンジ
pppoe enable [group pppoe-group-name]	<p><i>pppoe-group-name</i> で指定された PPPoE グループで定義されている PPPoE コンフィギュレーションをインターフェイス上の PPPoE セッションに使用させることを指定します。</p> <p>PPPoE グループを指定しなかった場合、PPPoE セッションはグローバル PPPoE グループで定義されているコンフィギュレーションを使用します。</p>	インターフェイス

ブートコマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンドモード
boot	システムブートパラメータを変更します。	グローバル
confreg	コンフィギュレーションレジスタを定義します。 システム起動時の動作を定義します。	ROM モニタ
reload	システムを停止して、コールドリスタートを実行します。 オペレーティングシステムを再ロードします。	イネーブル EXEC

Cisco IOS ソフトウェアのファイルシステムコマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンドモード
cd	現在のディレクトリを変更し、別のディレクトリに移動します。	イネーブル EXEC
copy	あるファイルから別のファイルにコピーします。	イネーブル EXEC
delete	フラッシュメモリ デバイス上のファイルを削除します。	イネーブル EXEC
dir	ファイルシステム上のファイルの一覧を表示します。	イネーブル EXEC
erase	ファイルシステムを消去します。	イネーブル EXEC
file	ファイルシステムパラメータを調整します。	グローバル
format	ファイルシステムをフォーマットします。 フラッシュディスクまたはフラッシュカードをフォーマットします。	イネーブル EXEC
mkdir	フラッシュディスク上で新しいディレクトリを作成します。	イネーブル EXEC
more	ファイルの内容を表示します。	イネーブル EXEC
pwd	現在の作業ディレクトリを表示します。 cd コマンドの現在の設定を表示します。	イネーブル EXEC
rename	クラス C フラッシュファイルシステム内のファイル名を変更します。	イネーブル EXEC
rmdir	既存のディレクトリを削除します。 rsh ホスト上でコマンドをリモート実行します。	イネーブル EXEC
squeeze	ファイルシステムをスキーズします。 フラッシュカードからファイルを永久に削除します。	イネーブル EXEC
undelete	削除したファイルを元に戻します。 フラッシュカードの削除マークの付いたファイルを回復します。	イネーブル EXEC
verify	フラッシュメモリファイルのチェックサムを確認します。	イネーブル EXEC

コンフィギュレーション ファイル管理コマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンド モード
configure	コンフィギュレーション モードを開始します。 端末およびメモリ コンフィギュレーション モードを開始します。	イネーブル EXEC
service	ネットワークベース サービスの使用を変更します。	グローバル

接続、メニュー、およびシステム バナーのコマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンド モード
banner	ログイン バナーを定義します。 対話型 EXEC で端末にバナーを表示します。	グローバル
lock	端末をロックします。 回線に一時的なパスワードを設定します。	ユーザ EXEC イネーブル EXEC
menu	ユーザ インターフェイス メニューを定義します。 ユーザ インターフェイス メニュー用の基本コマンドを指定します。	グローバル
name-connection	既存のネットワーク接続に名前を設定します。 接続に論理名を割り当てます。	ユーザ EXEC イネーブル EXEC
send	他の TTY 回線にメッセージを送信します。 1 つまたはすべての端末回線にメッセージを送信します。	イネーブル EXEC

DHCP コマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンドモード
ip address-pool dhcp-pool	MPLS (マルチプロトコルラベルスイッチング) VPN (仮想私設網) との PPP リモート アクセス セッションに対応するグローバルなデフォルトの IP アドレス メカニズムとして、オンデマンド型アドレス プールを使用できるようにします。ローカルで設定された VRF に対応する DHCP プールが IP アドレスを割り当てます。	グローバル
ip dhcp pool name	Cisco IOS DHCP サーバ上で Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) アドレス プールを設定します。	DHCP プール
origin {dhcp aaa ipcp} [subnet size initial size] [autogrow size]]	オンデマンド型アドレス プールとしてアドレス プールを設定します。	DHCP
utilization mark low percentage-number	プール サイズの使用率マークの下限を設定します。デフォルト値は 0 パーセントです。	DHCP
utilization mark high percentage-number	プール サイズの使用率マークの上限を設定します。デフォルト値は 100 パーセントです。	DHCP

ダイヤル テクノロジー コマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンドモード
clear pppoe all	すべての PPP over Ethernet (PPPoE) セッションを削除します。	イネーブル EXEC
clear pppoe interface	物理インターフェイスまたはサブインターフェイス上のすべての PPPoE セッションを削除します。	イネーブル EXEC
clear pppoe rmac	クライアントホストの MAC (メディアアクセス制御) アドレスからの PPPoE セッションを削除します。	イネーブル EXEC
controller	特定のコントローラを設定します。 コントローラ タイプを設定し、コントローラ コンフィギュレーション モードを開始します。	グローバル
description	インターフェイス固有の記述。 インターフェイス コンフィギュレーションにコメントを追加します。	インターフェイス
dialer	Dial-on-Demand Routing (DDR; ダイヤル オンデマンドルーティング) コマンド。	インターフェイス
disconnect	既存のネットワーク接続を終了します。	ユーザ EXEC イネーブル EXEC
l2tp tunnel retransmit initial retries number	LAC (L2TP アクセス コンセントレータ) が諦めるまでに L2TP トンネル設定要求を再送信する回数を指定します。	VPDN グループ
l2tp tunnel retransmit initial timeout {min number max number}	LAC がサーバホストの応答を待機する時間を設定します。	VPDN グループ
line	端末回線を設定します。	グローバル

コマンド	説明および使用方法	コマンドモード
loadsharing ip <i>ip-address</i> [limit session-limit]	ロードシェアリングのエンドポイントを設定します。 <i>ip-address</i> は、トンネルの反対側にある HGW または LNS の IP アドレスです。 (任意) limit session-limit を指定すると、負荷分散に基づいてセッションが制限されます。セッション数の限度は 0 ~ 32,767 の範囲です。デフォルトでは無制限になります。	VPDN グループ
multilink	PPP マルチリンク グローバル コンフィギュレーション。	グローバル
multilink-group	マルチリンク バンドルにインターフェイスを含めます。	インターフェイス
ppp	(ユーザ EXEC) IETF PPP (ポイントツーポイント プロトコル) を起動します。 (イネーブル EXEC) PPP を使用して非同期接続を開始します。 (インターフェイス) PPP を起動します。	ユーザ EXEC イネーブル EXEC インターフェイス
show pppoe session all	各セッション ID の PPPoE セッション情報を表示します。	イネーブル EXEC
show pppoe session packets	PPPoE セッション統計情報を表示します。	イネーブル EXEC
tunnel	トンネル接続を開始します。 ルータとのネットワーク レイヤ接続を確立します。	ユーザ EXEC イネーブル EXEC
virtual-profile	仮想プロファイルの設定。 AAA の設定によって仮想プロファイルをイネーブルにします。	グローバル
vpdn enable	ルータ上で Virtual Private Dialup Networking (VPDN; 仮想私設ダイヤルアップ網) をイネーブルにして、ローカルデータベースと存在する場合にはリモート許可サーバ (ホーム ゲートウェイ) でトンネル定義を検索するようにルータに指示します。	グローバル
vpdn-group <i>name</i>	Virtual Private Dialup Network (VPDN; 仮想私設ダイヤルアップ網) グループをカスタム プロファイルまたは VPDN プロファイルに対応づけます。	VPDN
vpdn search-order <i>domain</i>	サービスプロバイダ ネットワーク アクセス サーバがドメイン名について、Virtual Private Dialup Network (VPDN; 仮想私設ダイヤルアップ網) トンネルの許可を検索することを指定します。	グローバル
vpdn session-limit <i>sessions</i>	ルータ上で同時に確立できる VPN セッションの数を制限します。	グローバル

フレームリレー コマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンドモード
frame-relay	フレームリレー コマンドを開始します。	グローバル
frame-relay interface-queue fair	このコマンドは廃止されたので、使用できません。 frame-relay interface-queue priority コマンドを参照してください。	マップ クラス
frame-relay interface-queue priority {high medium normal low}	フレームリレー マップ クラス内の Permanent Virtual Circuit (PVC; 相手先固定接続) にプライオリティを割り当てます。	マップ クラス
keepalive	キープアライブをイネーブルにします。 特定のインターフェイスにキープアライブ タイマーを設定します。	インターフェイス

インターフェイス コマンド



(注) Cisco 10000 ルータのインターフェイスは、デフォルトで **no shutdown** に設定されます。

コマンド	説明および使用方法	コマンドモード
aps	Automatic Protection Switching (APS; 自動保護スイッチ) パラメータを変更します。	イネーブル EXEC インターフェイス
atm	Asynchronous Transfer Mode (ATM; 非同期転送モード) インターフェイスを設定します。 Cisco IOS ソフトウェアには、ATM インターフェイスを設定するための ATM コマンドが多数備わっています。詳細については、『 Cisco IOS Wide-Area Networking Command Reference 』 Release 12.2 を参照してください。	インターフェイス
autodetect	シリアルインターフェイスのカプセル化を自動検出します。	グローバル
backup	バックアップ パラメータを変更します。	サポートされない
bert	BERT コマンドを指定します。	インターフェイス
carrier-delay	インターフェイス移行の遅延を指定します。	インターフェイス
compress	シリアルインターフェイスの圧縮を設定します。	インターフェイス
crc	CRC (巡回冗長検査) のワードサイズを指定します。	インターフェイス
delay	インターフェイス スループット遅延を指定します。	インターフェイス
down-when-looped	ループしているシリアル インターフェイスを強制的に停止します。	インターフェイス
dsu	DSU (データ サービス ユニット) プロパティを設定します。	インターフェイス

コマンド	説明および使用方法	コマンドモード
duplex {half full auto}	<p>デュプレックス動作モードを設定します (PRE、製品番号 ESR-PRE2 が必要)。</p> <p>デフォルトのデュプレックスモードは全二重で、この場合、コンフィギュレーションファイルには含まれません。 no duplex コマンドを実行すると、システムはデフォルトのデュプレックスモードに戻ります。</p> <p>speed、half-duplex、および full-duplex コマンドも参照してください。</p>	インターフェイス
encapsulation	インターフェイスのカプセル化タイプを設定します。	インターフェイス
framing	DS3 のフレーミングタイプを指定します。	インターフェイス
full-duplex	全二重または半二重の動作モードを設定します。	インターフェイス
half-duplex	<p>Performance Routing Engine (PRE) のファストイーサネット Network Management Ethernet (NME) ポートは、システムデフォルトの自動ネゴシエーションモードとして設定する必要があります。デュプレックスモードによって自動ネゴシエーションモードがディセーブルになるので、フラップなどの問題が起きる可能性があります。ポートでこのような問題が発生し、そのポートがデュプレックスモードとして設定されている場合は、no full-duplex または no half-duplex コマンドを使用してデュプレックスモードをディセーブルにしてください。</p> <p>ルータに製品番号 ESR-PRE1 の PRE が搭載されている場合、ルータのコンフィギュレーションファイルに含まれるのは full-duplex コマンドだけです。ESR-PRE1 を製品番号 ESR-PRE2 の PRE に交換すると、システムによって full-duplex コマンドは廃棄されますが、デュプレックスモードは引き続き全二重に設定されます。ESR-PRE2 のデフォルトの設定だからです (ESR-PRE2 が搭載されている場合、コンフィギュレーションファイルにデフォルトの設定値は含まれません)。</p> <p>ESR-PRE1 では、コンフィギュレーションファイルにデュプレックスモードが指定されていない場合、半二重が指定されたものとみなされます。このコンフィギュレーションファイルを ESR-PRE2 に移行させ、引き続き半二重を使用する場合は、duplex コマンドを使用してデュプレックスモードを明示的に設定する必要があります。</p>	インターフェイス
hold-queue	ホールドキューの深さを設定します。	インターフェイス
interface	設定するインターフェイスを選択し、インターフェイスコンフィギュレーションモードを開始します。	グローバル
interface virtual template	<p>仮想アクセスインターフェイスの作成時に設定して動的に適用できる、仮想テンプレートインターフェイスを作成します。</p> <p>仮想テンプレートインターフェイスは、Virtual Profile、Virtual Private Dialup Networks (VPDN; 仮想私設ダイヤルアップ網)、PPP over ATM、プロトコル変換、Multichassis Multilink PPP (MMP) など、さまざまなアプリケーションで作成して適用することができます。</p>	グローバル

コマンド	説明および使用方法	コマンドモード
mtu	インターフェイスの Maximum Transmission Unit (MTU; 最大伝送ユニット) を設定します。	インターフェイス
pos	POS パラメータを変更します。	インターフェイス
pulse-time	リセット時に DTR のパルスを一時的に有効にします。	インターフェイス
scramble	ペイロードスクランブルを一時的に有効にします。	インターフェイス
serial	シリアルインターフェイス コマンド。	インターフェイス
shutdown	選択されたインターフェイスをシャットダウンします。	インターフェイス
speed {10 100 auto}	<p>ファストイーサネット Network Management Ethernet (NME) ポートの速度を設定します (PRE、製品番号 ESR-PRE2 が必要)。</p> <p>デフォルトの速度は 100 Mbps で、この場合、コンフィギュレーションファイルには含まれません。no speed コマンドを実行すると、システムはデフォルトの速度に戻ります。</p> <p>duplex、half-duplex、および full-duplex コマンドも参照してください。</p>	インターフェイス
transmit-interface	受信専用インターフェイスに送信インターフェイスを割り当てます。	インターフェイス

IP アドレス指定コマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンドモード
arp	<p>スタティック Address Resolution Protocol (ARP) エントリを設定します。MAC アドレスを IP アドレスに対応づけます。</p> <p>ARP タイプ (arpa、probe、snap) またはタイムアウトを設定します。</p>	<p>グローバル</p> <p>インターフェイス</p>

IP マルチキャスト ツール コマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンドモード
mrinfo	<p>マルチキャスト ルータにネイバおよびバージョン情報を要求します。</p> <p>ローカル ルータのピアになっている近接マルチキャスト ルータを識別します。</p>	<p>ユーザ EXEC</p> <p>イネーブル EXEC</p>
mstat	<p>複数のマルチキャスト トレースルート実行後の統計情報を表示します。</p> <p>IP マルチキャスト パケット レートおよび損失情報を表示します。</p>	<p>ユーザ EXEC</p> <p>イネーブル EXEC</p>
mtrace	<p>宛先から送信元へ逆方向のマルチキャスト パスを追跡します。</p> <p>マルチキャスト 配信ツリーに従って、送信元から宛先分岐へのパスを追跡します。</p>	<p>ユーザ EXEC</p> <p>イネーブル EXEC</p>

IP ルーティング プロトコルに依存しないコマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンドモード
key	鍵の管理。	グローバル
route-map	<p>ルート マップを作成するか、またはルート マップ コンフィギュレーション モードを開始します。</p> <p>あるルーティング プロトコルから別のルーティング プロトコルへルートを再分配する条件を定義します。またはポリシー ルーティングをイネーブルにします。ルート マップ コンフィギュレーション モードを開始します。</p>	グローバル

IP サービス コマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンドモード
ip mtu bytes	インターフェイス上で送信される IP パケットの Maximum Transmission Unit (MTU; 最大伝送ユニット) を設定します。 このコマンドの no 形式を使用すると、デフォルトの MTU サイズに戻ります。	インターフェイス
ip pxf ignore l2tp df-bit	DF ビットの設定を無視してパケットが分割されるようにルータを設定します。	グローバル
ip tcp path-mtu-discovery [age-timer {minutes infinite}]	ルータからの新しい TCP 接続のすべてで、Path MTU Discovery 機能を使用できるようにします。	グローバル

ISO コネクションレス ネットワーク サービス コマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンドモード
clns	(グローバル) グローバル CLNS コンフィギュレーションサブコマンド。 (インターフェイス) CLNS インターフェイスサブコマンド。	グローバル インターフェイス
which-route	Open System Interconnection (OSI; 開放型システム間相互接続) ルートテーブル検索を実行し、結果を表示します。 指定の CLNS 宛先が見つかったルーティングテーブルを表示します。	イネーブル EXEC

ロックおよび鍵のコマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンドモード
access-enable	Cisco 10000 ルータへのアクセスを制限する、一時的なアクセスリストエントリを作成します。	ユーザ EXEC イネーブル EXEC
access-template	一時的なアクセスリストエントリを作成します。 一時的なアクセスリストエントリをカスタマイズします。	イネーブル EXEC

Parallel Express Forwarding コマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンドモード
clear pxf interface [<i>interface</i> rp]	指定されたインターフェイスまたは Route Processor (RP; ルートプロセッサ) の PXF カウンタを消去します。インターフェイスを指定しなかった場合、すべてのインターフェイスの PXF カウンタが消去されます。	イネーブル EXEC
clear pxf statistics { ip drop diversion }}	指定された PXF 統計情報を消去します。 ip 引数を指定すると、IP および Internet Control Message Protocol (ICMP) 統計情報が表示されます。 drop 引数を指定すると、廃棄されたパケットおよびバイト数が表示されます。 diversion 引数を指定すると、PXF を迂回したトラフィックが表示されます。	イネーブル EXEC
show pxf cpu access-lists [security QoS]	Access Control List (ACL; アクセス制御リスト) のメモリ情報を 3 つのセクションに分けて表示します。 <ul style="list-style-type: none"> 最初のセクションには、各 ACL が使用している ACL 固有のメモリが表示されます。 2 番目のセクションには、すべての ACL が同時に使用する ACL 共通メモリが表示されます。 3 番目のセクションには、指定したタイプの ACL (security または QoS) が PXF メモリ全体のうちのどれだけ使用しているかが表示されます。 	イネーブル EXEC
show pxf cpu buffers	PXF エンジンが使用できる各サイズの出力バッファ数を表示します。 トラフィックがルータを通過していて、一部のパケットが使用中の場合、メモリリークが発生しています。割り当てエラーが生じている場合、ルータでそのサイズのパケットが暴走しています。	イネーブル EXEC
show pxf cpu cef ip-prefix [<i>mask</i>]	PXF メモリに保管されている現在の Cisco Express Forwarding (CEF) テーブルを表示します。 <i>ip-prefix</i> 引数は、シャドウ MTRIE 構造の検索対象となる IP アドレスプレフィクスです。 <i>mask</i> 引数は、任意のサブネットマスクです。	イネーブル EXEC
show pxf cpu cef memory	現在の Cisco Express Forwarding (CEF) テーブルの PXF メモリ使用率を表示します。	イネーブル EXEC

コマンド	説明および使用方法	コマンドモード
show pxf cpu context	<p>PXF エンジンの現在の負荷および負荷の履歴を表示します。最初のセクションには、前回の再ロード以来、PXF エンジンに送られた各タイプのコンテキスト数が表示されます。</p> <p><i>feed back</i> コンテキストは、PXF エンジンを複数回通過しなければならない機能（マルチキャスト、出力 ACL など）が原因で、PXF エンジンに再び入ったパケット数を表します。</p> <p><i>new_work</i> コンテキストは、PXF エンジンがルート プロセッサおよびあらゆるライン カードから受け付けたパケット数を表します。</p> <p><i>null</i> コンテキストは、未使用のパケット帯域を表します。</p>	イネーブル EXEC
show pxf cpu mroute	<p>PXF メモリに保管されている現在のマルチキャスト ルーティング テーブルを表示します。</p>	イネーブル EXEC
show pxf cpu queue interface	<p>特定のインターフェイスについて、出力キューの統計情報を表示します。インターフェイスを指定しなかった場合は、ルート プロセッサのキュー統計情報が表示されます。</p> <p>各インターフェイスに2つずつキューがあります。ロー プライオリティ キューおよびハイ プライオリティ キューです。</p> <p><i>wq_len</i> は、インターフェイスの出力キューの現在の深さです。</p> <p><i>wq_limit_drop</i> は、出力キューが満杯で廃棄されたパケットの数です。</p> <p><i>packet xmit</i> は、出力されたパケット数です。</p> <p><i>byte xmit</i> は、出力されたバイト数です。</p>	イネーブル EXEC
show pxf cpu schedule	<p>各インターフェイスが PXF エンジンからパケットを受信する レートを表示します。</p>	イネーブル EXEC
show pxf cpu statistics [drop diversion ip]	<p>エンジンが最後にロードされて以後の PXF エンジンの統計情報を表示します。drop、diversion、および ip パラメータは任意です。パラメータを指定しなかった場合は、すべてのパラメータについて情報が表示されます。</p> <p>drop を指定すると、示された理由で PXF エンジンが廃棄したパケットの数が表示されます。</p> <p>diversion を指定すると、示された理由（1つまたは複数）で PXF エンジンがルーティング プロセッサに送信したパケットの数が表示されます。</p> <p>ip を指定すると、PXF エンジンがパケットに対して実行した IP アクティビティの数が表示されます。ip パラメータを使用した場合に表示される情報の一部は、diversion オプションでも表示されます。</p>	イネーブル EXEC
show pxf cpu subblocks interface	<p>インターフェイスのステータスおよび PXF 関連パラメータを表示します。</p>	イネーブル EXEC
show pxf interface [interface rp] [detail]	<p>特定のインターフェイスまたは Route Processor (RP; ルート プロセッサ) の PXF カウンタを表示します。インターフェイスを指定しなかった場合、すべてのインターフェイスの PXF カウンタが表示されます。</p>	イネーブル EXEC

パスワードおよび権限コマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンドモード
show pxf microcode	PXF エンジン上で稼働しているマイクロコードのバージョンおよびその稼働時間を表示します。	イネーブル EXEC
show pxf statistics {ip diversion drop [detail]}	指定された PXF 統計情報を表示します。 ip 引数を指定すると、IP および ICMP 統計情報が表示されます。 drop 引数を指定すると、廃棄されたパケットおよびバイト数が表示されます。 diversion 引数を指定すると、PXF を迂回したトラフィックが表示されます。	イネーブル EXEC

パスワードおよび権限コマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンドモード
privilege	コマンド権限のパラメータ。 コンフィギュレーション コマンドにアクセスするために必要な権限レベルを調整します。	グローバル
username	ユーザ名の認証を設定します。 コンフィギュレーション ファイルで表示するユーザ名を指定します。	グローバル

Quality of Service (QoS; サービス品質) コマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンドモード
bgp-policy	bgp コミュニティ スtring によって伝達されたポリシーを適用します。 インターフェイス上で QoS Policy Propagation on BGP (QPPB; BGP による QoS ポリシー伝達) をイネーブルにします。	インターフェイス
class	ポリシーを作成または変更するクラスの名前を指定します。または、ポリシーを設定する前にデフォルトのクラス (一般に class-default クラス) を指定します。	QoS ポリシーマップ
class-map	QoS class-map コマンド。 config-cmap コンフィギュレーションモードを開始します。	グローバル
match class-map	分類ポリシーとしてトラフィック クラスを使用します。	QoS クラス マップ
police	指定された属性についてパケットを検証します。	QoS ポリシーマップ クラス
policy-map	QoS ポリシー マップを設定します。 config-pmap モードを開始します。このモードから config-pmap-c モードを開始できます。	グローバル
queue-limit	ポリシー マップで設定されたクラス ポリシーについて、キューが保持できるパケットの最大数を指定または変更します。	QoS ポリシーマップ クラス
queue-list	カスタム キュー リストを作成します。 インターフェイスにプライオリティ キューイングを指定します。	グローバル
random-detect	クラスに Weighted Random Early Detection (WRED; 重み付きランダム早期検出) を割り当てます。	インターフェイス QoS ポリシーマップ クラス
rate-limit	レート制限。 Committed Access Rate (CAR; 専用アクセス レート) および Distributed CAR (DCAR; 分散 CAR) ポリシーを設定します。	インターフェイス
service-policy	QoS サービス ポリシーを設定します。	インターフェイス
set qos-group	あとでパケットを分類するために使用可能なグループ ID を設定します。	QoS ポリシーマップ
traffic-shape	インターフェイスまたはサブインターフェイス上でトラフィックシェーピングをイネーブルにします。 フレームリレー トラフィックシェーピング オプション。	インターフェイス
tx-ring-limit	PA レベルの送信リング制限を設定します。	インターフェイス

RADIUS コマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンドモード
aaa group server radius <i>group-name</i>	複数の異なる RADIUS サーバ ホストをグループとして、特定のリストおよび特定の方式にまとめます。	グローバル
radius-server retransmit <i>retries</i>	Cisco IOS ソフトウェアが諦めるまでに、RADIUS サーバ ホストのリストを検索する回数を指定します。	グローバル
radius-server timeout <i>seconds</i>	ルータがサーバ ホストの応答を待機する時間を設定します。	グローバル

冗長構成コマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンドモード
associate	冗長スロットを対応づけます。	冗長構成コンフィギュレーションサブモード
auto-sync	要素を同期させます。 スタートアップおよびその他のファイルを同期させます。	冗長構成メイン CPU コンフィギュレーションサブモード
failover	フェールオーバーを設定します。	冗長構成メイン CPU コンフィギュレーションサブモード
main-cpu	メイン CPU モードを開始します。	冗長構成コンフィギュレーションサブモード
redundancy	(イネーブル EXEC) 強制的にセカンダリカードに切り替えます。 (グローバル) 冗長構成モード (config-r) を開始します。そこから冗長構成メイン CPU (config-r-mc) モードを開始します。	イネーブル EXEC グローバル

ルータ メモリ コマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンドモード
write	Open System Interconnection (OSI; 開放型システム間相互接続) ルータ テーブル検索を実行し、結果を表示します。	イネーブル EXEC

Service Selection Gateway (SSG) コマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンドモード
clear ssg host <i>ip-address interface</i>	所定のホストまたは加入者を削除、またはディセーブルにします。	イネーブル EXEC
clear ssg next-hop	ネクスト ホップ テーブルを削除します。	イネーブル EXEC
clear ssg pending-command	すべての pending コマンドを削除します。	イネーブル EXEC
clear ssg service	サービスを削除します。	イネーブル EXEC
debug ssg ctrl-errors	コントロール モジュールのすべてのエラー メッセージを表示します。	イネーブル EXEC
debug ssg ctrl-events	コントロール モジュールのすべてのイベント メッセージを表示します。	イネーブル EXEC
debug ssg ctrl-packets	コントロール モジュールが処理するパケットの内容を表示します。	イネーブル EXEC
debug ssg data	すべてのデータパス パケットを表示します。	イネーブル EXEC
debug ssg errors	システム モジュールのすべてのエラー メッセージを表示します。	イネーブル EXEC
debug ssg events	システム モジュールのイベント メッセージを表示します。	イネーブル EXEC
debug ssg packets	システム モジュールが処理するパケットの内容を表示します。	イネーブル EXEC
debug ssg tcp-redirect {packet error event}	SSG Transmission Control Protocol (TCP) リダイレクト機能のデバッグ情報をオンにし、次の種類の情報を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> パケットのリダイレクト期間が満了する場合、パケットに対して加えられるリダイレクション情報および変更 SSG の TCP リダイレクト エラー 主な SSG の TCP リダイレクト イベントまたはステート変更 	イネーブル EXEC
network <i>ip-address</i>	IP アドレスを名前付きネットワーク リストに追加します。	SSG リダイレクト ネットワーク
network-list <i>network-listname</i>	名前付きネットワーク リストを構成する、1 つまたは複数の IP ネットワーク リストを定義します。SSG リダイレクト ネットワーク コンフィギュレーション モードを開始します。	SSG リダイレクト
port <i>port-number</i>	TCP ポートを名前付きポート リストに追加します。	SSG リダイレクト ポート
port-list <i>port-listname</i>	名前付きポート リストを構成する、1 つまたは複数の TCP ポートのリストを定義し、SSG リダイレクト ポート コンフィギュレーション モードを開始します。	SSG リダイレクト
redirect captive initial default group <i>group-name duration seconds</i>	デフォルトのキャプティブ ポータル グループ、およびユーザがログインしたあと、最初のキャプティブ ポータブル グループが割り当てられる期間を選択します。	SSG リダイレクト
redirect {port-list port-listname port port-number} to group-name	SSG TCP リダイレクトの TCP ポートまたは名前付き SSG TCP ポート リストを、サービスに対して設定します。	SSG リダイレクト
redirect unauthenticated-user to group-name	認証されていないユーザからの TCP トラフィックを名前付きキャプティブ ポータル グループにリダイレクトします。	SSG リダイレクト
redirect unauthorized-service [destination network-list network-listname] to group-name	指定された、名前付きキャプティブ ポータル グループによってリダイレクト可能な宛先 IP ネットワークのリストを設定します。	SSG リダイレクト

コマンド	説明および使用方法	コマンドモード
<code>server ip-address port</code>	サーバをキャプティブポータルグループに追加します。	SSGリダイレクトグループ
<code>server-group group-name</code>	名前付きキャプティブポータルリストを構成する、1つまたは複数のサーバのグループを定義し、SSGリダイレクトグループコンフィギュレーションモードを開始します。	SSGリダイレクト
<code>show ssg binding [begin expression exclude expression include expression]</code>	インターフェイスにバインドされているサービス名およびサービス名にバインドされているIPアドレスを表示します。	イネーブル EXEC
<code>show ssg connection ip-address service-name [interface]</code>	ホストおよびサービス名の接続を表示します。 SSGは、サービスに対して出力統計情報としてホストから送信されたバイト数をレポートします。入力の接続統計情報は、サービスからホストに送信されるバイト数およびパケット数です。SSGは、サービスに対して正常に送信されたパケットだけをカウントし、ホストから受信してもその後にドロップしたパケットについてはレポートしません。	イネーブル EXEC
<code>show ssg direction [begin expression exclude expression include expression]</code>	方向が指定されているすべてのインターフェイスの方向を示します。	イネーブル EXEC
<code>show ssg host [ip-address [interface] username]</code>	加入者および加入者の現行の接続に関する情報を表示します。	イネーブル EXEC
<code>show ssg next-hop [begin expression exclude expression include expression]</code>	ネクストホップテーブルを表示します。	イネーブル EXEC
<code>show ssg pending-command</code>	next-hopまたはfiltersなどの現行のpendingコマンドを表示します。	イネーブル EXEC
<code>show ssg service [service-name [begin expression exclude expression include expression]]</code>	サービスの情報を表示します。	イネーブル EXEC
<code>show ssg tcp-redirect group [group-name]</code>	キャプティブポータルグループおよびこれらのグループに対応付けられたネットワークに関する情報を表示します。	イネーブル EXEC
<code>show ssg vc-service-map [vpilvci service service-name]</code>	Virtual Circuit (VC; 仮想回線) とサービス名のマッピングを表示します。	イネーブル EXEC
<code>show tcp-redirect mappings [ip-address [interface]]</code>	システム内にあるホストのTCPリダイレクトマッピングに関する情報を表示します。	イネーブル EXEC
<code>ssg accounting</code>	SSG アカウンティングをイネーブルにします。	グローバル
<code>ssg accounting interval seconds</code>	アカウンティングの更新がアカウンティングサーバに送られる間隔を指定します。 範囲は 60 ~ 2,147,483,647 秒で、60 秒単位で指定します。入力値は、その次の 60 の倍数に切り上げられます。デフォルトは 600 です。	グローバル

コマンド	説明および使用方法	コマンドモード
ssg bind direction {downlink uplink} {ATM atm-interface Async async-interface BVI bvi-interface Dialer dialer-interface Ethernet ethernet-interface FastEthernet fastethernet-interface Group-Async group-async-interface Lex lex-interface Loopback loopback-interface Multilink multilink-interface Null null-interface Port-channel port-channel-interface Tunnel tunnel-interface Virtual-Access virtual-access-interface Virtual-Template virtual-template-interface Virtual-TokenRing virtual-tokenring-interface}	<p>インターフェイスをダウンリンクまたはアップリンク インターフェイスとして指定します。</p> <p>デフォルトでは、すべてのインターフェイスはアップリンク インターフェイスとして設定されています。</p>	グローバル
ssg bind service service-name {ip-address ATM atm-interface Async async-interface BVI bvi-interface Dialer dialer-interface Ethernet ethernet-interface FastEthernet fastethernet-interface Group-Async group-async-interface Lex lex-interface Loopback loopback-interface Multilink multilink-interface Null null-interface Port-channel port-channel-interface Tunnel tunnel-interface Virtual-Access virtual-access-interface Virtual-Template virtual-template-interface Virtual-TokenRing virtual-tokenring-interface}	<p>サービスのインターフェイスを指定し、サービスをインターフェイスにバインドします。</p>	グローバル
ssg default-network ip-address mask	<p>デフォルトのネットワーク IP アドレスまたはサブネットおよびマスクを指定します。</p>	グローバル
ssg enable	<p>SSG をイネーブルにします。</p>	グローバル
ssg maxservice number	<p>ユーザ 1 人あたりの最大サービス数を設定します。</p> <p>ユーザ 1 人あたりのデフォルトの最大サービス数は 20 です。</p>	グローバル

コマンド	説明および使用方法	コマンド モード
ssg next-hop download [<i>profile-name</i>][<i>profile-password</i>]	ネクスト ホップ テーブルを RADIUS サーバからダウンロードします。 プロファイル名およびパスワードを指定していない場合、このコマンドを使って指定した直前のプロファイルがダウンロードされます。以前にプロファイルを指定しなかった場合は、エラーメッセージが生成されます。	グローバル
ssg profile-cache	非 PPP ユーザのユーザ プロファイルのキャッシングをイネーブルにします。	グローバル
ssg qos police session	特定の加入者に対し、サービス間で帯域幅を適切に分配するために、セッションあたりのポリシングをイネーブルにします。	グローバル
ssg radius-helper [<i>acct-port port-number</i> <i>auth-port port-number</i> <i>key key</i>]	Subscriber Edge Services Manager (SESM) との通信をイネーブルにして、パケット受信用のポート番号および秘密鍵を指定します。	グローバル
ssg service-cache <i>refresh-interval</i>	サービスがリフレッシュされる間隔を設定します。 <i>refresh-interval</i> は、ルータがサービスをリフレッシュするまでの、ルータの待機時間 (分単位で表示) です。有効値は 10 ~ 34,560 分 (10 分 ~ 24 日) です。デフォルト値は 120 分です。  (注) サービスプロファイルをローカルまたは RADIUS サーバで更新しても、SSG 上のサービスは自動的に更新されません。ルータは、ユーザが設定した <i>refresh-interval</i> (通常は 120 分) で定期的にサービス プロファイルからサービスをリフレッシュします。	グローバル
ssg service-cache refresh { <i>all</i> <i>servicename</i> }	SSG に強制的にサービス プロファイルを更新させます。QoS のすべての変更が接続に適用されます。  (注) 接続レベルのポリシングの場合、 ssg qos police session をイネーブルにする必要があります。	グローバル
ssg service-password <i>password</i>	サービス プロファイルのダウンロード用パスワードを指定します。	グローバル
ssg service-search-order { <i>local</i> <i>remote</i> <i>local remote</i> <i>remote local</i> }	サービス プロファイルを検索する順序を指定します。 デフォルトの検索順序はリモートで、これは SSG がサービス プロファイルを RADIUS サーバ上で検索することを意味します。	グローバル
ssg tcp-redirect	SSG TCP リダイレクションおよび SSG リダイレクト モードをイネーブルにします。	グローバル
ssg vc-service-map <i>service-name</i> [<i>interface interface-number</i>] <i>start-vpi</i> <i>start-vpi/vci</i> [<i>end-vpi</i> <i>end-vpi/vci</i>] exclusive non-exclusive	Virtual Circuit (VC; 仮想回線) をサービス名にマップします。 デフォルトのサービス マッピングは、 non-exclusive です。	グローバル

スイッチング サービス コマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンドモード
clear	機能をリセットします。 show interface コマンドのカウンタを消去します。回線上のトラフィックを消去します。ログを消去します。	ユーザ EXEC イネーブル EXEC
default	コマンドをデフォルト値に設定します。	グローバル インターフェイス
ip vrf forwarding	インターフェイスを VPN Routing/Forwarding instance (VRF;VPN ルーティング/転送インスタンス) に対応づけます。 インターフェイスに対してこのコマンドを実行すると、IP アドレスが削除されます。IP アドレスの再設定が必要になります。	グローバル インターフェイス
mls rp	Multilayer Switching Protocol (MLSP; マルチレイヤ スイッチング プロトコル) コマンドを使用します。	ユーザ EXEC イネーブル EXEC グローバル インターフェイス
mpls	(イネーブル EXEC) ルータ トラフィック エンジニアリングを設定します。トラフィック エンジニアリング タグ スイッチング コマンドを使用することによって、マルチプロトコル ラベル スイッチングをイネーブルにします。 (グローバル) Multiprotocol Label Switching (MPLS; マルチプロトコル ラベル スイッチング) パラメータを設定します。 (インターフェイス) MPLS インターフェイス パラメータを設定します。	イネーブル EXEC グローバル インターフェイス
show ip vrf	(VRF で VPN ID を設定している場合) 定義されている一連の VPN Routing/Forwarding Instance (VRF;VPN ルーティング/転送インスタンス) と対応インターフェイスを表示します。 Virtual Private Network (VPN; 仮想私設網) に対応する固有の VRF を識別する場合には、vpn id コマンドを参照してください。	イネーブル EXEC
tagswitch	タグ スイッチング テスト/デバッグ コマンド。	イネーブル EXEC
tag-switching	(グローバル) ダイナミック タグ スイッチング コマンド。 (インターフェイス) タグ スイッチング インターフェイス コンフィギュレーション コマンド。	グローバル インターフェイス

端末動作特性のコマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンド モード
default-value	デフォルトのキャラクタ ビット値。 フロー制御のデフォルト値を7ビット幅から8ビット幅に変更します。	グローバル
state-machine	TCP ディスパッチ ステート マシンを定義します。	グローバル
terminal	端末回線のパラメータを設定します。	ユーザ EXEC イネーブル EXEC
terminal-queue	端末キューのコマンド。 端末ポート キューの再試行間隔を変更します。	グローバル
where	アクティブ接続のリストを指定します。	ユーザ EXEC イネーブル EXEC

端末サービス コマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンド モード
busy-message	ホストに接続できなかった場合に、メッセージを表示します。	グローバル
connect	端末接続を開始します。 (ユーザ EXEC) Telnet を使用して装置に接続します。 (イネーブル EXEC) Telnet、rlogin、または LAT をサポートするホストにログインします。	ユーザ EXEC イネーブル EXEC
login	特定のユーザとしてログインします。	ユーザ EXEC イネーブル EXEC
login-string	ホスト固有のログイン文字列を定義します。	グローバル
logout	EXEC を終了します。	ユーザ EXEC イネーブル EXEC
resume	アクティブなネットワーク接続を再開します。 開始されている別の Telnet、rlogin、LAT、または PAD セッションに移動します。	ユーザ EXEC イネーブル EXEC
resume-string	ホスト固有の再開文字列を定義します。	グローバル
rlogin	rlogin 接続を開始します。 (グローバル) リモート ログイン コンフィギュレーション コマンド。	ユーザ EXEC イネーブル EXEC グローバル
session-limit session-number	1 回線の最大端末セッション数を設定します。	ライン
slip	Serial-Line IP (SLIP) を使用してリモート ホストとのシリアル接続を開始します。	ユーザ EXEC イネーブル EXEC
telnet	Telnet セッションを開始します。	ユーザ EXEC イネーブル EXEC

トラブルシューティングおよび障害管理のコマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンドモード
debug	デバッグ機能をイネーブルにします (undebg コマンドも参照)。 debug コマンドの出力およびエラーメッセージを現在の端末セッションに表示します。	イネーブル EXEC
debug pppoe {event error packet data} [rmac remote-mac-address interface interface-number [vc {[vpil]vci vc-name}]]	MAC 単位、VC 単位、およびインターフェイス単位で PPPoE デバッグ機能をイネーブルにします。	インターフェイス PVC
exception	例外処理を実行します。	グローバル
logging	(グローバル) メッセージ ログ ファシリティを変更します。ログを保管または削除します。 (インターフェイス) インターフェイスのログを設定します。Syslog サーバにメッセージを記録します。	グローバル インターフェイス
ping	Internet Control Message Protocol (ICMP) エコー メッセージを送信します。 インターフェイスの接続能力を検証します。	ユーザ EXEC イネーブル EXEC
posd	一時的な OC-12 POS デバッグ ツールキット。	ユーザ EXEC イネーブル EXEC
test	サブシステム、メモリ、およびインターフェイスをテストします。	イネーブル EXEC
tracert	ルートを宛先まで追跡します。 送信元ポートから指定の宛先まで、データが流れる経路を調べます。	イネーブル EXEC
tracerte	ルートを宛先まで追跡します。 送信元ポートから指定の宛先まで、データが流れる経路を調べます。	ユーザ EXEC
undebg	デバッグ機能をディセーブルにします (debug コマンドも参照)。	イネーブル EXEC

SONET および T3 コントローラ コンフィギュレーション コマンド

表 3 に、SONET コントローラ コンフィギュレーション モードで使用できるコマンドを示します。

表 4 に、T3 コントローラ コンフィギュレーション モードで使用できるコマンドを示します。



(注)

これらのコマンドについての詳細は、『[Cisco 10000 Series Internet Router Software Configuration Guide](#)』を参照してください。

表 3 SONET コントローラ コンフィギュレーション モードのコマンド

コマンド	説明
clock	OC-12 コントローラのクロック ソースを指定します。
description	コントローラを記述します。
help	対話式ヘルプ システムを記述します。
loopback	OC-12 回線全体をループバックさせます。
path	チャネライズド SONET コントローラ上で STS-1 パスを作成します。
shutdown	OC-12 コントローラをシャットダウンします。

表 4 T3 コントローラ コンフィギュレーション モードのコマンド

コマンド	説明
cablelength	フィート単位で表したケーブル長 (0 ~ 450)。
channelized	DS3 のチャネライズド モードを設定します。
clock	T3 リンクのクロック ソースを指定します。
description	コントローラを記述します。
equipment	ループバック モードの装置タイプを指定します。
framing	T3 リンクのフレーミング タイプを指定します。
help	対話式ヘルプ システムを記述します。
idle	T3 インターフェイス上の全チャネルに対してアイドル パターンを指定します。
loopback	T3 回線全体をループバックさせます。
mdl	Maintenance Data Link の設定。
shutdown	DS3 リンクをシャットダウンします (DS3 Idle を送信)。
t1	T1 チャネルを作成または変更します。

その他のコマンド

コマンド	説明および使用方法	コマンドモード
<1-99>	再開するセッション番号。 Network Management Station (NMS; ネットワーク管理ステーション) で Telnet と他のセッションを切り替えます。	ユーザ EXEC イネーブル EXEC
access-list	アクセス リスト エントリを追加します。	グローバル
authen before-forward	ユーザ単位のトンネル選択機能を設定します。	VPDN グループ コンフィギュレーション
bandwidth	帯域幅情報パラメータを設定します。	インターフェイス
card	ダイナミック Cisco 10000 シリーズルータ カードを作成します。 Cisco 10000 シリーズルータ ラインカード用のスロットを事前に設定します。	グローバル
cdp	(グローバル) グローバル Cisco Discovery Protocol コンフィギュレーション サブコマンド。 (インターフェイス) CDP インターフェイス サブコマンド。	グローバル インターフェイス
chain-cache	パーサー チェーン キャッシュを制御します。	ユーザ EXEC イネーブル EXEC グローバル
dialer-group	ダイヤラ リストにインターフェイスを追加します。	インターフェイス
dss	dss パラメータを設定します。	グローバル
hw-module	リセットしてライン カードをシャットダウンします。 PRE を含めてすべてのカードをリセットします。	イネーブル EXEC グローバル
idle-character	アイドル キャラクタ タイプを設定します。	インターフェイス
initiate-to ip ipaddress [limit limit-number] [priority priority-number]	トンネルの反対側の IP アドレスを指定します。	VPDN グループ コンフィギュレーション
ip	(グローバル) IP コンフィギュレーション サブコマンド。 (インターフェイス) IP コンフィギュレーション コマンド。ポートおよびインターフェイスに IP サービスを設定します。	グローバル インターフェイス
ipc	IPC システムを設定します。	グローバル
isis	IS-IS コマンド。	インターフェイス
iso-igrp	ISO-IGRP インターフェイス サブコマンド。 ISO IGRP 隣接関係の設定をフィルタリングします。	グローバル
kerberos	Kerberos を設定します。	グローバル
loopback	インターフェイス上に内部ループバックを設定します。	インターフェイス
mac-address	MAC アドレスを手動で設定します。	インターフェイス
map-class	スタティック マップクラスを設定します。 dialer map コマンドと共用するパラメータを定義します。	グローバル

コマンド	説明および使用方法	コマンド モード
map-list	スタティック マップ リストを設定します。 マップ グループを指定し、ローカル E.164 または X.121 送信元アドレスおよびリモート E.164 または X.121 宛先アドレスに結合します。	グローバル
priority-list	プライオリティ リストを作成します。 プロトコル タイプに基づいてキューイング プライオリティを設定します。これは、Logical Unit (LU; 論理装置) アドレスに基づいてキューイング プライオリティを設定する手順の 1 つです。	グローバル
protocol pppoe [group pppoe-group-name]	<i>pppoe-group-name</i> で指定された PPP over Ethernet (PPPoE) グループで定義されている PPPoE コンフィギュレーションを VC 上の PPPoE セッションに使用させることを指定します。 PPPoE グループを指定しなかった場合、PPPoE セッションはグローバル コンフィギュレーションを使用します。	PVC PVC レンジ PVC インレンジ VC クラス ATM
rmon	イーサネット インターフェイスのリモート モニタリング。	グローバル
router	ルーティング プロセスをイネーブルにします。 各種ルーティング プロトコルをイネーブルにします。	グローバル
rtr	Response Time Reporter (RTR) の基本設定。 RTR プローブを設定します。	グローバル
setup	setup 機能を実行します。 シスコ製品の初期設定を支援します。	イネーブル EXEC
snmp	SNMP (簡易ネットワーク管理プロトコル) インターフェイス パラメータを変更します。	インターフェイス
snmp-server	SNMP パラメータを変更します。	グローバル
syscon	システム コントローラを設定します。	グローバル
systat	端末回線情報を表示します。 ルータ上のアクティブ回線に関する情報を表示します。	ユーザ EXEC イネーブル EXEC
tacacs-server	TACACS クエリ パラメータを変更します。	グローバル
tftpload	TFTP を使用してラインカード イメージをロードします。	イネーブル EXEC
timeout	このインターフェイスのタイムアウト値を定義します。	インターフェイス
vpdn authorize domain	ドメインを事前認証できるようにします。	VPDN グループ コンフィギュレーション
vpdn multihop	Virtual Private Dialup Network (VPDN; 仮想私設ダイヤルアップ網) マルチホップ機能をイネーブルにします。	グローバル
vpdn search-order {dnis domain domain dnis domain dnis}	サービス プロバイダ ネットワーク アクセス サーバによる VPDN トンネル認証検索の実行方法を指定します。	グローバル

コマンド	説明および使用方法	コマンドモード
<p>vpn id <i>oui:VPN-index</i></p>	<p>ネットワーク内のすべての VHG および PE ルータにおいて固有のものとして、VPN に対応する VPN Routing/Forwarding instance (VRF;VPN ルーティング/転送インスタンス) を指定します。</p> <p>ルータの全 VRF を対応づけられた VPN-ID とともに表示するには、イネーブル EXEC モードで show ip vrf id コマンドを入力します。show ip vrf id コマンドを入力しても、VPN ID が設定されていない VRF は表示されません。</p>	<p>VRF コンフィギュレーション</p>
<p>vpn service <i>domain-name</i></p>	<p>(ATM VC コンフィギュレーション) 指定の Permanent Virtual Circuit (PVC; 相手先固定接続) 上でドメイン名を設定します。</p> <p>(ATM VC クラス コンフィギュレーション) VC クラス内の全仮想回線上でドメイン名を設定します。</p>	<p>ATM VC コンフィギュレーション</p> <p>ATM VC クラス コンフィギュレーション</p>

